

社会政策学会誌執筆要領

1 原稿の形式

原稿は原則として Microsoft Word 形式で作成し、縦置きの A 4 版用紙に横書きで、全角 40 字×40 行で印字する。原稿の分量は、原則として以下のとおりとする。

(1) 投稿原稿の研究論文

図表、注、引用文献等を含み、【40 字×400 行】以上【40 字×500 行】以内とする。

(2) 投稿原稿の研究ノート

図表、注、引用文献等を含み、【40 字×200 行】以上【40 字×300 行】以内とする。

(3) 研究動向紹介、政策動向紹介、史資料解題、学会情報（依頼原稿を除く）

図表、注、引用文献等を含み、【40 字×200 行】以上【40 字×300 行】以内とする。

(4) 依頼原稿

書評は【40 字×125 行】を上限とし、それ以外は上記を目安に、編集委員会からの依頼条件による。

2 図表の字数換算

原稿字数を計算する際、図表は便宜上、以下の 3 段階で換算する。

①A 4 版で 1 頁相当の場合は 40 行

②1/2 頁相当の場合は 20 行

③1/4 頁相当の場合は 10 行

必ず提出前に A4 版で図表をプリントアウトし、読みやすい大きさであるか、執筆者本人が確認する。

3 研究倫理手続き

原稿に利用したデータや事例等については、プライバシーの侵害がなされないよう、細心の注意を払う。また、研究倫理に照らし必要な手続きを行い、研究倫理手続きを経ていることを、本文または注に明記する。

4 提出原稿

投稿に際しては、別に定める「社会政策学会誌編集規程 投稿細則」6 で定められた手続きに則って必要なデータを提出する。

5 原稿の書式

(1) 注・引用文献等もすべて本文と同じ文字サイズ、同じ字詰めで印字する。なお、英数字は原則として半角とする。

- (2) 原稿は、執筆者名は記さず、「本文、注、引用文献、図表等」の順に記載する。
- (3) 注は本文中の当該箇所、上付き文字で、^{1・2…}とナンバーをふる。注は、すべてまとめて本文の末尾に1行あけて記載する。
- (4) 各頁の下中央部に、頁番号を印字する。
- (5) 句読点は「、」「。」とする。
- (6) 「常用漢字を用いた新かなづかい」による執筆を原則とする。
- (7) 論文の構成
 - ①節 1・2・3… (数字の前後に「第」「節」は付さない)
 - ②小見出し (1)・(2)・(3)…
 - ③以下は (a)・(b)・(c)…
 - ④本文中の箇条書きなどは ①・②・③…を用いる。
 - ⑤見出し中の副題はコロン [:] でつなげる。
- (8) 年号は西暦表記を基本とする。和暦を併記する場合は、1987 (昭和 62) 年とする。ただし、必要に応じて「昭和 50 年代」などの和暦表記を用いてもよい。
- (9) 数の量などを表す数字の表記は、単位語(兆、億、万)を付ける。カンマは入れない。
例：12 億 8600 万人， 15 兆 300 億円
- (10) 幅のある数字を記す場合は、上位のケタの数を省略しない(ただし、年代はこの限りではない)。
例：130～150 万(130～50 万とはしない)、1970～80 年。
- (11) 図表は本文とは別に添付し、挿入箇所を原稿の右の余白部分に指示する。図表番号は [図 1]、[図 2]、[表 1]、[表 2]のように示し、通し番号とする。出典は必ず明記する。必要に応じて原著者または著作権所有者から使用許可を得る。

6 引用文献の記載方法は、以下のとおりとする。

- (1) 引用箇所
 - (a) 引用部分の文末に、[]を用いて示す。[]内は著者名(姓のみ、ただし同年発行・同姓の場合には姓名両方)、西暦発行年の順で示す。
 - (b) 引用文献が複数ある場合には、セミコロン [;] で区切って併記する。
 - (c) 著者が複数の場合には、[筆頭著者名(姓のみ)ほか、発行年]または[筆頭著者名 et al., 西暦発行年]とする。2名の場合、日本語は中点(・)、英語は and で記載してもよい。
 - (d) 同年に発行された同一著者の文献が複数ある場合には、発行年の後にアルファベットを付して区別する。
 - (e) 翻訳本発行年が原著発行年と異なる場合は、(著者名(姓のみ)、原著発行年＝翻訳本発行年)とする。
- (2) 文献リスト

(a) 雑誌論文の場合

著者名、西暦発行年、「論文表題および副題」『掲載雑誌名』巻(号): 頁-頁。

〔英語の場合: 著者名, 西暦発行年, “論文表題および副題,” 掲載雑誌名 (アンダーライン), 巻(号): 頁-頁.〕

(b) 著書の場合

①単著・共著の場合

著者名、西暦発行年、『書名』出版社または発行所名。

〔英語の場合: 著者名, 西暦発行年, 書名 (アンダーライン), 出版社または発行所名.〕

②編書に収録された論文の場合

著者名、西暦発行年、「論文表題および副題」編者名編『書名』出版社または発行所名、頁-頁。

〔英語の場合: 著者名, 西暦発行年, “論文表題および副題,” in 編者名(ed.), 書名 (アンダーライン), 出版社または発行所名, 頁-頁.〕

(c) 編書の場合

編者名編、西暦発行年、『書名』出版社または発行所名、頁-頁。

〔英語の場合: 編者名(ed.), 西暦発行年, 書名 (アンダーライン), 出版社または発行所名, 頁-頁.〕

(d) ウェブサイトからの引用の場合

著者名、公表年または最新の更新年、当該情報のタイトル、URL、引用のためのアクセス年月日。

(3) その他

(a) 日本語・外国語の文献を分けずに、筆頭著者名 [姓] のアルファベット順に記載する。

著者が複数の場合、日本語では中点 (・)、英語ではカンマ (,) でつなぎ、全員を記す。ただし、英語で、著者が2名から4名までの場合、最後の著者とその前の著者の間は、カンマでなく and でつなぐ。著者が5名以上の場合、5人目以降の著者名は省略し、ほか (日本語) あるいは et al. (英語) と記す。

(b) 英語文献の場合、著者名はファミリーネームを先にし、カンマでファーストネーム等を続ける。ただし、2人目以降の著者名はファーストネームを先にし、ファミリーネームを後に記す。表記は原則として原書大扉の表記に従う。(ファーストネームおよびミドルネームはイニシャル表記の場合もある)。

(c) 大学紀要や研究機関紀要は誌名の後に機関名を記す。

(d) 巻号の表記は「第 12 巻第 1 号」であっても 12(1)と表記する。

(e) 英語の場合、名詞等の単語の始まりの 1 文字を除いては小文字で表記する。

(f) シリーズ名等は、書名のあとに丸カッコ内に記す (『書名 (シリーズ名)』)。

(g) 日本語・英語以外の言語の場合、著者の責任で適切な表記を行う。

附 則

本要領は、2010 年 6 月 19 日より施行する。

一部改正 2009 年 1 月 30 日

一部改正 2010 年 6 月 19 日

一部改正 2016 年 2 月 27 日

一部改正 2017 年 3 月 20 日

一部改正 2022 年 11 月 1 日